

藤塚小だより

学校教育目標：生きる力にあふれる子

～「自分らしさを発揮する力」の育成を目指して～

令和5年 8月 28日
横浜市立藤塚小学校
学校だより 9月号

TEL (351) 2314

FAX (351) 7349

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/fujizuka/>

～ 学校スタート！ 藤塚小学校 ～

校長 出口栄生

今日から学校がスタート！夏休み明けの通常授業が始まり、学校には明るく元気な声があちこちでこだましています。夏休み明けの学校の雰囲気はそれまでとがらりと変わります。子どもたちが登校することで、学校も本格スタートします。学校の主役は、子どもたちであることを感じる瞬間です。

我が国の夏休みの歴史を調べてみたところ、その始まりは明治14年とのこと。つまり学校制度公布（明治5年）から僅か9年後には夏休みが始まりました。この夏休みの期間は、全国一律ではなく、北海道では早く開始する学校が多いとのことです。

一方で、教職員はこの夏休みの間は、研修や研究などで研鑽を積む絶好の機会です。私も夏休み期間中、様々な研修に出席しました。その中で、8月18日、法務省（東京都千代田区霞が関）主催の「法教育セミナー」に参加しました。法教育セミナーでは、全国各地から先生方（小学校・中学校・高等学校等）が参加していましたが、そこでは、主権者教育や模擬裁判の意義などが紹介されていました。成人年齢が18歳となりましたが、裁判員として刑事裁判に参加する意義や法律専門家（裁判官、検察官、弁護士など）を交えて、他校の法教育に対する「取り組みの事例」などの紹介や研究がありました。これからも教職員は研鑽を積んでいきたいと思えます。

ところで6月27日に法務省近くの「国会」に6年生と見学に行きましたが、主権者としてさらに法教育の重要性を感じたところです。どの児童も6年生になれば国会見学に行く予定ですが、その数か月後に藤塚小学校を卒業し、その約6年後には成人となります。とても成長のスピードは早いものです。



目まぐるしく変化するなかで、自立に向けて一步一步成長してほしいと願います。